

横川っ子だより

不思議だね あいさつだけで 広がる輪

地域で子どもたちの登下校の見守りをしてくださる方がいらっしやいます。「子どもたちがあいさつをしてくれると元気になります」と、毎日、交差点に立って、子どもたちが交通事故に遭わないように声を掛けてくださいます。本当にありがとうございます。

その一方で、子どもたちからあいさつが返ってこない、「『どうしたのかな？』『大丈夫かな？』と心配になります」とおっしゃっていました。

私たちの心は、目には見えなくとも、チリやホコリが絶えずついていて、しみこんでいきます。空をいくくもこくくとその姿を変えらるるように、私たちの心の動きも、悩みがあり、喜びがあり、怒りがあり、悲しみがあり、絶えず心が回転していきたくらうと思ひます。



つまり、私たちの心も手入れしないでおくと、悲しみや怒りや悩みが出てくるたびに、心の感情とともに、チリやホコリがついてくるのです。そのチリやホコリをそのままにしておくと、心は汚れ、濁り、傷ついていくでしょう。

だからこそ、常に心の扉を開いて、清め磨いていくことを努力していかないとはいけません。素直な心、感謝の心で、あいさつができたなら、人とつながり、よりよい明日を築いていけるような気がします。2月は、日ごろお世話になって感謝の気持ちを伝える「ありがとう週間」があります。この機会に、自分からあいさつを試みませんか。



感染症ってなに？ うつらない うつさないために

ホームページでもお知らせしていますが、インフルエンザに感染して欠席する児童が増えてきました。愛知県では、インフルエンザ警報が発令されています。

そこで、1月23日（水）に、学校医の佐藤慎二先生をお迎えして、学校保健委員会を開催しました。

当日は、保健委員会の児童が、感染症とは何か、咳やくしゃみで飛び散ったウイルスはどうなるのか。また、かぜ予防などのうがいの仕方、正しいマスクの仕方、咳エチケットの仕方など、感染症にう



らない、うつさないために大切なことをわかりやすく発表しました。

驚いたことに、手を洗った後、自然に乾かす、服やズボンで拭くといった児童が多かったことです。学校では予防のため、頻りに手洗い、うがいをしますので、ハンカチを持ってくる習慣をつけたいです。また、緑茶を飲んだり歯磨きをしたりすることも効果があると言われています。

「まめにマスク、まめに手洗い、みんなで予防！インフルエンザ」



—♪♪ すてきな仲間に出会えたから 今 私はがんばれる ♪♪—

1月25日(金)、雁宿ホールで小学校音楽会が開催されました。4年生が出演しました。曲目は、「大切なもの」「ヤングマン」です。11月から練習を積み重ねてきました。

「大切なもの」は、高声部と低声部のかけ合いが特徴的な二部合唱の曲です。子どもたちは、大切な仲間「ありがとう」という気持ちをのせて表現していました。強い気持ち、やさしさといった大切な心を教えてくれた仲間。がんばれ！負けないで！いつも背中を押してくれた仲間。こんなすてきな仲間に出会えたから、今、私はがんばれる。子どもたちの仲間を応援するあたたかい歌声に、心が震えました。

「ヤングマン」は、ピアノ伴奏に鍵盤ハーモニカを加えて、リコーダー演奏をした後、振り付けをしながら歌いました。そして、「皆さんも一緒に歌いましょう！」とお客さんを巻き込んだ「ヤングマン」は、みんなノリノリで表現していて、いつの間にか体が勝手に動き出しました。

「緊張したけれど、みんなと歌えて楽しかった」「大きな舞台に立ててうれしかった」「たくさん拍手がもらえてがんばってよかった」・・・子どもたちは、帰りのバスの中で、いつまでも「大切なもの」「ヤングマン」を口ずさんでいました。

心に残る音楽会になりました。



感動を ありがとう！